



# コツコツ とことん

大仙市立太田中学校  
令和3年11月11日  
NO. 86



うららかに たくましく ~ 耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~

## 志望校発見！ 3年進路PTA 子どもたちの日常は？ 1・2年PTA



中学校を卒業してからの進路を考える時、現在秋田県には60以上の進学先があります。県外の進学先を加えると数限りなくなります。その全てを知ることとは不可能でしょう。

短縮・縮小の中で3年生は、夏休みに体験入学に参加したり進学先について調べたりしています。また、実際進学した兄姉や先輩から話を聞くなどして、情報を得ている人もいることでしょう。しかし、まだまだ目標が漠然としている人、現実として受け止められない人、悩んでいる人も見受けられます。高等学校一般選抜入試の入学願書を提出するまで3ヶ月弱となってきました。アツという間に過ぎてしまう時間です。

そこで、昨日11月10日（水）に3年生、3年生保護者を対象に、秋田県内の高校の入試要項、進路決定までの日程についての理解を深め、進路目標をより明確にし、意欲をさらに高めるために進路PTAを開催しました。



人それぞれ進学先を定める時期は異なりますが、進学先を決めるのは早いに越したことはありません。

その理由の一つとして、行きたい高校が定まった方がモチベーションが上がるのが挙げられます。人は目標なく努力を続けるということはかなり難しいことだと思います。憧れの高校という明確な目標があれば、そこに行くために勉強をがんばろうと思う気持ちがきっと強くなることでしょう。

「受験生」という言葉は、一般的には「中学3年生」になったらというようなイメージがありますが、中3からみんな一斉に「受験生」になるわけではあ

りません。いつから受験勉強を本格的に始めるかについての決まりなどなく、スタートが早ければ早いほど有利になるはずですが、中2からでも中1からでも、志望校が決まっていれば、そこに照準を合わせて勉強をスタートさせているのであれば、それはもう実質的に「受験生」です。逆にいえば、志望校がいつまでたっても決まらずに、どこに照準を合わせて勉強すればいいかが分かっていない人は、中3であっても「受験生」にはなっていないのです。まさに、『受験勉強にフライングなし 受験勉強にスピード違反なし』なのです。

受験をマラソンに例える人もいますが、マラソンで上位に入賞するのは、ほとんどの場合、先頭集団の人たちです。つまり、スタートで出遅れた人があとから逆転するのは、本当に難しいということです。

志望校が決まれば、あとはその高校に照準を合わせた勉強を、ひたすらやっつけていだけなのです。

その意味で、3年生のみならず、2年生・1年生にも、保護者の皆様にも、少しでも早く進路目標を定め、スタートを切ってもらいたいと願っています。

1・2年生の保護者の皆様もPTAへのご来校ありがとうございました。4月のPTAはコロナ感染拡大のため紙上での報告・競技・決着でしたし、7月のPTAは全校での情報モラル教室でしたので、今年度初めて授業を参観いただきました。1Aはビブリオバトル、1Bと2Aは道徳でしたが、授業中の子どもたちの姿は、保護者の皆様の目にどのように映ったでしょうか？



そして、今年度7ヶ月が過ぎ、様々な制約の中ではありますが、子どもたちはどう変容したでしょうか？毎日一緒に生活している家族では感じないこともたくさんあるかもしれませんが、私たち教職員側からすると多くの変容を目にし、太田中学校に勤務させていただいていることに喜びを感じ、感謝しているところです。

この後、2月のPTA授業参観へのご来校をお願いいたしますとともに、そのような特別な日ではなくても、地域の学校としていつでも学校にお越しいただき、お待ちいたしております。